



# 成人式

今年度、市内では450人が成人を迎え、1月10日、文化センターで行われた成人式には315人の新成人が参加しました。

式典で浅田市長が「さまざま困難が立ちまはる今こそ、周囲と協力し、自ら向上心をもち道を切り拓いてほしい」と祝いの言葉を送ると、新成人代表の村上隼人さんは「コロナ禍の中、盛大な式典を開催していただいたことに新成人一同、心より感謝申し上げ

ます」と謝辞を述べました。ことしはアトラクションの中止、マスク着用や人との距離をとるなど、いつもとは違い多くの制限がある中での開催となりましたが、色とりどりの振袖や凛々しいスーツ姿で身を固めた新成人たちは、ルールを守りながら旧友たちとの再会を楽しんでいました。式典の前には、成人式実行委員会がサプライズ企画した恩師からのビデオメッセージも上映されました。

## ／ほかにも／ 会場で行われた感染症対策

### 会場前広場の規制



手指消毒



検温

### 連絡先の記入



## 新成人誓いの言葉



村上隼人さん  
(荒尾地区)

私は、この二十年間の月日を思い返しますと、多くの方々に支えられていたことに気が付きます。これまで育ててくれた両親をはじめとする家族、時にはぶつかることもありましたが、正しい道へ導いてくださった先生方、いつも暖かい目で見守ってくくださった地域の方々、そして多くの時間を共に過ごしてきた仲間が存在がとて大きかったです。時には悩み、道に迷うこともありました。手を差し伸べてくださった皆様のおかげで、今私たちはここにいます。

新成人一人一人がこれまでの恩に心から感謝し、今度は私たち自身が、誰かに手を差し伸べることでできる大人へと成長し、生まれ育ったこの荒尾市に恩返しができるよう、日々精進してまいります。これからもたくさんさんの出会いと別れを経験していくとは思いますが、成人としての自覚を持ち何事にも感謝の気持ちを忘れず、それぞれの人生を一生懸命に生きていきます。